

准校長から9月号（平成27年）

本校では8月25日に夏休みが明けて授業再開となりました。しばらくは残暑が厳しく、生徒たちも登校してくるのが大変そうでしたが、9月も中旬以降はずいぶん涼しくなり、学校での活動にも集中して取り組めるようになってきたように感じられます。本校は2学期制ですので9月末で前期が終了しますが、終了前には前期末考査があります。生徒たちには、気候が過ごしやすくなったこの時期に、今までの学習の成果を発揮できるよう普段以上に考査に向け勉強に取り組んでもらいたいと思います。

さて、夏休みからこの9月にかけては、部活動の成果発表の場が多くあります。本校でも運動系の部・同好会が大会に参加し活躍してくれました。陸上部、剣道同好会、柔道部、卓球同好会、バスケット部などが大会に参加し、大阪府予選を勝ち抜いて近畿大会へ駒を進めた部や同好会もあります。また文化系でも美術部、写真部が少ない人数でも熱心に活動をしていました。詳細は学校ホームページの部活動紹介に掲載してありますので、ぜひご覧ください。定時制では、放課後に部活動をする時間が30分程度と短く、また昼間に仕事やアルバイトがあるなど部活動を続けるには、気力・体力的にもなかなか厳しい環境にあります。特に運動系の部活動は大変です。そんな中でもコツコツと練習に打ち込んでいく姿は素晴らしいものがあります。そんな生徒たちが大会で成果を出してくれることはとても嬉しいことですが、今年ももう一つ嬉しいことがありました。従来から活動している生徒の姿を見て自分もチャレンジしてみたいと新しい部員が増えたこと、そして部員同士がプレーについて教えあっている姿が見れたことです。

学校生活の中で何か刺激を受けて、前向きに取り組む姿勢が生まれる。また、目標に向かって少しずつでも努力を重ねる。そういった生徒が増えてくれたことを、とても嬉しく感じました。

また9月中旬からは就職試験が始まりました。たくさんの先生に応募書類の書き方指導や面接指導を受け試験に臨む姿が見られました。私も面接指導に入りましたが、最初はできなかった事も繰り返し練習することで出来るようになってきたことは、何としても希望の仕事に就きたいという目標があるからだと思います。

目標を持つことの大切さと、普段の頑張りが大切であると、機会あるごとに生徒たちには伝えていきます。小さなことであっても、コツコツと日々の努力を積み重ねることを学校生活のなかで身につけていって欲しいと願っています。

10月からは後期が始まります。後期には生徒秋季発表大会や文化祭、校外学習、3年生は修学旅行などの行事があります。これらの活動を通して、より多くの生徒が成長してくれることを願っています。

今月も最後まで、お読みいただきましてありがとうございました。